

The 100th
Anniversary of
"Manifeste
du surréalisme"
Surrealism
and Japan

『シュルレアリスム宣言』一〇〇年
Surrealism
and Japan

二〇二三年度総合展示

北脇昇《独活》一九三七年 東京国立近代美術館



開室時間 = 10時～19時30分 * 入場は30分前まで
休館日 = 月曜日(祝日の場合は開館、翌日休館)、12月28日～1月3日
主催 = 京都府、京都文化博物館
協力 = 板橋区立美術館、三重県立美術館
助成 = 公益財団法人ポーラ美術振興財団

日本とシュルレアリスム
and Japan

2023.12.16 Sat.
— 2024.2.4 Sun. —
京都文化博物館
四階展示室



京都文化博物館
〒604-8183 京都市中京区三条高倉
TEL.075-222-0888 www.bunpaku.or.jp



きょうハレの日



シュルレアリスム

画家たちがみた世界 1920s-1950s

20世紀最大の芸術運動「シュルレアリスム」。フランスに始まり各地の芸術、思想、文化に影響を及ぼした運動は、日本の芸術家をも魅了します。

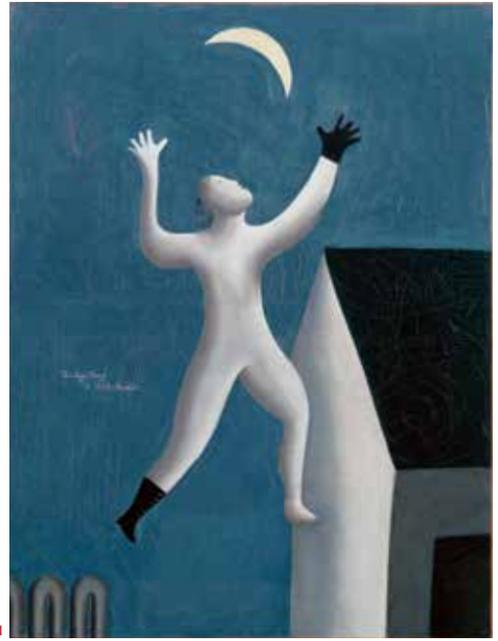
1920年代後半、詩の分野から始まった日本のシュルレアリスムはやがて絵画の分野へと伝わります。古賀春江や東郷青児らが先駆的に試みたシュルレアリスムの絵画表現は、フランスで感化を受けた福沢一郎が本格的に日本に導入し、若い画家や画学生の間にもその影響が広がっていきます。しかしながら戦前から戦中へ、シュルレアリスムを巡る状況は次第に悪化します。困難な時代に描かれた絵画は、画家たちの切実な思いや思想がにじみ出たものへと変容し、戦後へと引き継がれていきます。

『シュルレアリスム宣言』の発表から100年を記念する本展では、主にシュルレアリスムの影響を受けた日本の絵画作品を通して、多様なイメージの展開をご紹介しますと同時に、彼らが生きた時代を振り返ります。

と日本

Surrealism and Japan

1. 東郷青児《超現実派の散歩》1929年 SOMPO美術館 ©Sompo Museum of Art, 2024 | 2. 高山良策《矛盾の橋》1954年 板橋区立美術館 | 3. 巒光《眼のある風景》1938年 東京国立近代美術館 | 4. 吉原治良《縄をまとう男》1931-33年頃 大阪中之島美術館 | 5. 小牧源太郎《民族系譜学》1937年 京都市美術館 | 6. 浅原清隆《多感な地上》1939年 東京国立近代美術館



入場料

一般 | 500円(400円) 大学生 | 400円(320円)
高校生以下 | 無料

* ()内は20名以上の団体料金*総合展示とフィルムシアター(3階)をご覧ください。(フィルムシアターは催事により別途料金が必要な場合があります。)

同時開催

異界へのまなざし
—あやかしと魔よけの世界—

会期 | 2023年11月25日(土)~2024年1月8日(月・祝)
会場 | 3階展示室

日本考古学の鼻祖 ^{とうていかん} 藤貞幹展

会期 | 2023年12月9日(土)~2024年2月4日(日)
会場 | 2階展示室

シュルレアリスムと京都

会期 | 2023年12月23日(土)~2024年2月18日(日)
会場 | 2階展示室



京都文化博物館
〒604-8183 京都市中京区三条高倉
TEL.075-222-0888 www.bunpaku.or.jp

関連イベント

講演会

「シュルレアリスムと日本の画家たち」

講師 | 速水豊氏(三重県立美術館 館長)

弘中智子氏(板橋区立美術館 学芸員)

司会 | 当館学芸員

日時 | 2024年1月13日(土) 10:30~12:00

場所 | 京都文化博物館3階フィルムシアター

定員 | 150名

参加費 | 無料(ただし本展覧会入場券(半券可)が必要)

[申込方法] 往復はがきに住所・氏名(返信面にも)・電話番号・希望イベント名を記入し、京都文化博物館「シュルレアリスムと日本展」係へお送りください。または、当館ホームページ「総合展イベント申込フォーム」(https://www.bunpaku.or.jp/exhi_sogo/form/)よりお申し込みください。
* 先着順。定員に達し次第、受付を終了します。
* 参加者1名ごとにお申し込みください。



学芸員によるギャラリートーク

日時 | 2024年1月12日(金)、1月26日(金)

各日14:00~(30分程度)

場所 | 4階展示室内

* 事前申込不要、参加費無料(ただし、当日の入場者に限ります)